

2022年(令和4年)6月5日(日) 伊勢新聞 掲載

「SSピンポン」楽しむ

鳥羽で体験会

県発祥の新スポーツ

「SSピンポン」楽しむ

鳥羽で
体験会 県発祥の新スポーツ

【鳥羽】鳥羽市安楽島町の鳥羽シーサイドホテルで四日、県発祥の新スポーツ「SSピンポン」の専用台常設を記念した競技の体験会があり、中村欣一郎市長や地元障害福祉サービス利用者が参加した。

SSピンポンは、視覚障害者向け競技「サウンドテーパーテニス」のルールを簡素化したスポーツで、互いに声をかけながら金属球が入った球をラケットで打ち合い、卓球台に張った網の下をくぐらせる。障害の有無や年齢に関係なく誰もが気軽に楽しめるスポーツとして、生涯(Sport)とスポーツ(Sports)の頭文字をとって平成二十七年に県で考案された。

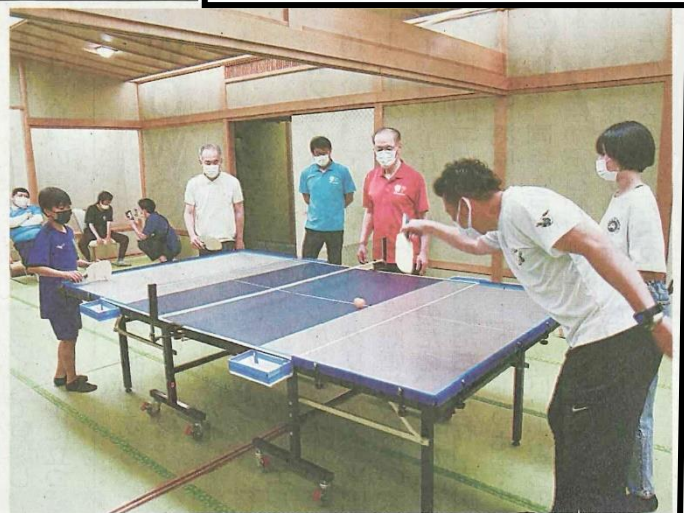
競技普及を目指すNPO法人日本SSピンポン協会(村井正治理事長)が、NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアースセンターを通じて

ち合い、卓球台に張った網の下をくぐらせる。障害の有無や年齢に関係なく誰もが気軽に楽しめるスポーツとして、生涯(Sport)とスポーツ(Sports)の頭文字をとって平成二十七年に県で考案された。

て同ホテルに協力を依頼。コロナ禍で利用機会が少なくなっていた宴会場の卓球台を活用する形で、専用台の常設が決まったという。

参加者らは、村井理事長(左)からルールについて説明を受けながら交代して競技を楽しんだ。村井理事長は「誰もが楽しめるスポーツとして知ってもらえれば」と話した。

同ホテルの前田浩取締役



SSピンポンを楽しむ参加者ら＝鳥羽市の鳥羽シーサイドホテルで

全ひは「利用者には障害がある方や家族連れも多い。少しでも普及の手伝いができれば」と話していた。

ホテルでは岬亭六階汐路で午前十一時～午後十時まで、一台五十分八百円でSSピンポンをプレーできる。日帰り客も利用可能。問い合わせは同ホテルへ。電話0599(25)51511へ。